

# 2条スリットエアーノズル取扱説明書

2016.2.22

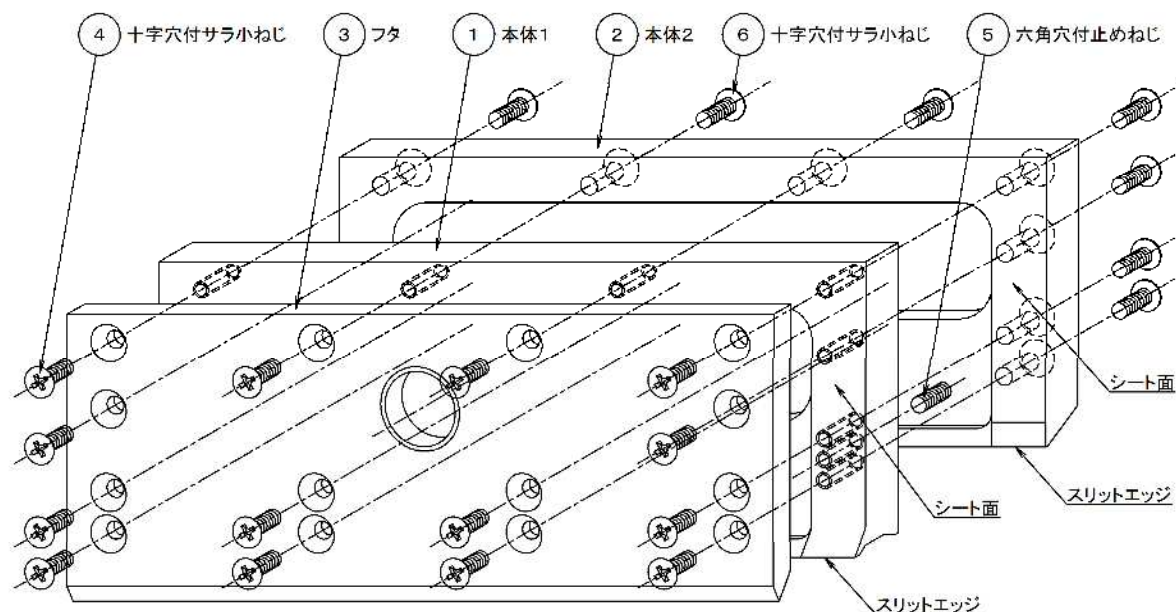
東海合金工業株式会社

## スリットエアーノズルの取扱い注意

- ・ スリットエアーノズルの噴射口形状は、極薄スリット状になっていますので異物等がノズル内部に入らない様に注意して下さい。
- ・ ノズル取り付け前に配管内部の掃除を確実に行って下さい。
- ・ ノズルスリットエッジ部は、性能特性上重要部分ですので絶対に傷つけないで下さい。
- ・ 有害な傷や変形と異物等は噴射圧力分布に影響を与えます。
- ・ もし、スリットエアーノズル内部に異物等が詰まり内部洗浄の必要が生じた場合は次の手順により作業を行って下さい。

※分解と組み付け作業は、スリットエアーノズルを機器から取り外し清浄な作業台等の上で行い、作業を行う前に必要な工具などを準備して下さい。

スリットエアーノズル分解図



## 分解手順と注意

- ・ 分解作業は次の手順で簡単に行う事が出来ます。
- 1) 清浄な作業台に③フタが下面になる様に置いて下さい。
- 2) ⑥十字穴付サラ小ねじの全数を1回転緩めて下さい。
- 3) 両端部各1本の⑥十字穴付サラ小ねじを残し、その他の全数を緩めて取り外して下さい。

- 4) ②本体 2 がずり落ちないように支え、シート面やノズルスリットエッジ部を傷つけない様に注意して残り 2 本の⑥十字穴付サラ小ねじを取り外して下さい。
- 5) ②本体 2 が外れたら、シート面やノズルスリットエッジ部を傷つけない様に注意して①本体 1 が下面になる様に置き換えて下さい。
- 6) ④十字穴付サラ小ねじの全数を 1 回転緩めて下さい。
- 7) 両端部各 1 本の④十字穴付サラ小ねじを残し、その他の全数を緩めて取り外して下さい。
- 8) ③フタがずり落ちないように支え、シート面やノズルスリットエッジ部を傷つけない様に注意して残り 2 本の④十字穴付サラ小ねじを取り外して下さい。
- 9) ③フタが外れたら、シート面やノズルスリットエッジ部を傷つけない様に注意して分解した部品全て洗浄して下さい。
- 10) ⑤六角穴付止めねじは、位置決め精度用にセットされておりますので必要な場合以外は触れない様にして下さい。

#### 組み付け手順と注意

・組み付け作業は次の手順で簡単に行う事が出来ます。

- 1) 組み付け前にノズルスリットエッジ部に有害な傷や変形の無い事と、ノズル内部に異物等が付着していない事を確認して下さい。  
(有害な傷や変形と異物等は噴射圧力分布に影響を与えます。)
- 2) ①本体 1 と③フタのシート面を、シート面やノズルスリットエッジ部を傷つけない様に注意して重ね合わせて下さい。
- 3) 両端部各 1 箇所に④十字穴付サラ小ねじのねじ山長さの 1/2 程度をねじ込んで、③フタが位置ずれしない様にして下さい。
- 4) 残りの箇所も同様に④十字穴付サラ小ねじをねじ込んで下さい。
- 5) ①本体 1 と③フタのノズルスリットエッジ部の端面を出来るだけ揃え、両端部と中心部の 3 箇所の④十字穴付サラ小ねじを③フタが動かない様に軽く締め付けて下さい。
- 6) 中心部より左右方向に、④十字穴付サラ小ねじの締め付けトルク **20kgf・cm** 程度(ドライバーで手首に力を入れる程度)で順次均一に締め付けて下さい。
- 7) ④十字穴付サラ小ねじを一通り締め終わったら、シート面やノズルスリットエッジ部を傷つけない様に注意して、③フタが下面になる様に置き換えて下さい。
- 8) ①本体 1 と②本体 2 のシート面を、シート面やノズルスリットエッジ部を傷つけない様に注意して重ね合わせて下さい。
- 9) 両端部各 1 箇所に⑥十字穴付サラ小ねじのねじ山長さの 1/2 程度をねじ込んで、②本体 2 が位置ずれしない様にして下さい。
- 10) 残りの箇所も同様に⑥十字穴付サラ小ねじをねじ込んで下さい。
- 11) ①本体 1 と②本体 2 のノズルスリットエッジ部の端面を出来るだけ揃え、両端部と中心部の 3 箇所の⑥十字穴付サラ小ねじを②本体 2 が動かない様に軽く締め付けて下さい。

- 12) 中心部より左右方向に、⑥十字穴付サラ小ねじの締め付けトルク  $20\text{kgf}\cdot\text{cm}$  程度(ドライバーで手首に力を入れる程度)で順次均一に締め付けて下さい。
- 13) 以上の組み付け作業でほぼ所定のノズルスリット寸法になりますが、隙間ゲージ等でスリット寸法の確認作業を行う場合、無理なゲージの差し込みを行うとノズルスリットエッジ部を傷つけることとなりますので注意して下さい。

備考：④・⑥十字穴付サラ小ねじを少し増し締めや緩めることでノズルスリット寸法を微小調整する事が出来ますが、締め過ぎや緩め過ぎるとボルトの折損や脱落の恐れがありますので十分に注意して下さい。

スリットエアーノズル組図

